

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
高気密・高断熱住宅により、家族が健康で楽しく笑顔で暮らせる家づくりを目指していく			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
住み続けられる住宅の増加、エコ住宅の推進により、人の健康と地域環境の改善を目指す			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023 年12月31日までの取組目標
	シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドの発散量が最も少ないF☆☆☆☆等級の建材、断熱材の利用 ヒートショックの発生を防ぐ為、室内の気温が温暖に保たれる高断熱高気密のエコ住宅の建築→ペアガラスの空気層に空気よりも熱伝達率が低いアルゴンガスを封入した高性能サッシの利用 断熱材の厚みを増すなどの施工の工夫 24時間換気をより適正に行うため、機械的吸気と換気を行う第一種換気システムの利用促進	F☆☆☆☆等級の建材、断熱材の利用、高性能サッシ、全棟達成 換気システム利用状況2割	シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドの発散量が最も少ないF☆☆☆☆等級の建材、断熱材の利用 ヒートショックの発生を防ぐ為、室内の気温が温暖に保たれる高断熱高気密のエコ住宅の建築→ペアガラスの空気層に空気よりも熱伝達率が低いアルゴンガスを封入した高性能サッシの利用 断熱材の厚みを増すなどの施工の工夫 24時間換気をより適正に行うため、機械的吸気と換気を行う第一種換気システムの利用促進
	ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の促進により、省エネ性を確保する また、再生可能エネルギーである太陽光発電の利用も促進する	全棟省エネ性を確保 太陽光発電3割利用	ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の促進により、省エネ性を確保する また、再生可能エネルギーである太陽光発電の利用も促進する
	定期点検を引き続き実施する 10年以上経過したお客様に対しては老朽化が進んでいると考えられるのでメンテナンスのハガキを送付→住み続けられる街には住み続けられる住宅が必要不可欠	全棟達成	定期点検を引き続き実施する 10年以上経過したお客様に対しては老朽化が進んでいると考えられるのでメンテナンスのハガキを送付→住み続けられる街には住み続けられる住宅が必要不可欠
	脱酸素社会に向けて、エネルギー消費量を抑える高断熱・高気密住宅のモデルプランであるZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の目標値を公表し建築を進めていく販売促進として、適正価格で高性能住宅を提供するために取引先と協議を常に行っていく 省エネ性能表示制度「BELS」の最高ランクの取得の推進	目標値を公表、取引先と協議を実施 BELS取得1割	脱酸素社会に向けて、エネルギー消費量を抑える高断熱・高気密住宅のモデルプランであるZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の目標値を公表し建築を進めていく販売促進として、適正価格で高性能住宅を提供するために取引先と協議を常に行っていく 省エネ性能表示制度「BELS」の最高ランクの取得の推進

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	有限会社DAMソウショウ建築	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	1 事業所
2	業 種	2. 建設業	
3	従業員（構成員）数	4人	
4	代表者 職・氏名	職 名	取締役
		氏 名	宗野 太輔
5	所 在 地	〒 420-0913	
		静岡県葵区瀬名川1-27-53	
6	ホームページURL	https://www.kaorigikoubou.co.jp/	